

T 公民館だより Toyosato

No. 84



豊里コミュニティ推進協議会

豊里公民館広報

4 月号

令和2年4月1日発行

本年度も沢山の事業を計画しています。

令和2年度事業 スタート

皆様のご参加
ご協力をお願い
いたします。

歌声喫茶

[対象] どなたでも
[内容] 歌と珈琲等



6月・8月・12月

ミュージックケア

[対象] どなたでも
[内容] 音楽体操、演奏、合唱等

随時



シニアいきいきセミナー

[対象] 65歳以上
[内容] 教養講座、移動研修等

6月～2月



囲碁将棋サークル

[対象] どなたでも
[内容] 交流、棋力向上

4月～3月
(毎月、随時)



成人事業

[対象] 成人男女

詳細は
別紙ちらし

6月～



パソコン教室

[対象] 豊里地区市民

[定員] 9名

9月～11月



寄せ植え教室

[対象] 地区市民
[定員] 30名

後日お知らせ



いけばな教室

[対象] 地区市民
[定員] 20名

5月～2月



登山のつどい

[対象] 小学4年生以上
小学生は保護者同伴
[定員] 20名

6月21日



軽トラ市



海里交流

日程は後日
お知らせ

コミュニティ夏祭り

楽しいイベント
がいっぱい

8月



親子クッキング

[対象] 3～5歳児及び保護者
[定員] 10組

日程は後日
お知らせ



女性セミナー

[対象] 70歳までの成人女性
[内容] 教養講座、移動研修等

6月～3月



お気軽にご参加下さい

これ以外の行事等も
その都度お知らせします

自然と命の大切さを実感

豊里小5年生 鮭の稚魚25万尾を放流

2月20日、旧北上川の豊里水辺の公園において、豊里小5年生49名が鮭の稚魚25万尾を放流しました。



これは、北上川漁業協同組合と同豊里支部が主催し、豊里公民館と豊里教育事務所の主管で実施。稚魚の放流体験を通じて自然と命の大切さを学び、川の愛護と環境保全の推進を図ることを目的として、今年で4年目になります。

稚魚は、昨年秋に捕獲した鮭から採卵し、体長5cm・体重1gに成長したものです。

放流は、一人一人が稚魚の入ったバケツを持ち、樋(とい)にゆっくりと丁寧に流し込んでいきます。

子供たちは、大きくなって帰ってくることを願いながら、稚魚が泳ぐ姿を眺めていました。



どぶろくと軽トラ市のノウハウ学ぶ

～豊里コミュニティ推進協議会 雫石視察研修～

2月18日・19日の二日間、岩手県雫石町への視察研修を行い18名が参加しました。

雫石商工会では、年7回・毎回50台もの出展がある軽トラ市を15年間継続開催できている運営のノウハウを伺いました。

民宿なかがわでは、どぶ

ろくを民宿で提供するほか、道の駅での販売も行っており、『どぶろくでの地域づくり・まちおこし』に関する取り組みなどのお話と、



作業場の設備を見学させていただきました。



雫石商工会での研修の様子



どぶろく作りの作業場見学

おしらせ

4月1日から
伊藤隆敏(山根)が
新館長に就任しました！

笑顔と歓声いっぱい

少子高齢化の進行をはじ

め、社会構造が変化し続ける昨今、地域の拠点施設として公民館が果たすべき役割には大きなものがあります。

笑顔と歓声にあふれ、より多くの皆様に愛され続ける公民館として、皆様のお力添えを引き続きお願いいたします。(伊藤)

とよさとの 18



豊里が誇るすばらしい人物や場所を発掘し、顕彰する、その名も大きく『豊里の人間国宝と世界遺産』。

人間国宝には、鮮やかな手さばきで木を削り、本物のような彼岸花作りの名人西二ツ屋の佐々木喜秋さん。

世界遺産には、400年前この地の開墾を指揮し、村の基礎を築いた「秋山源兵衛の顕彰石碑」の登場です。

あなたの周りの凄い人や珍しい行事・文化、ここぞと思う場所・施設を推薦して下さい。取材に伺います。



佐々木喜秋さんご夫婦

とよさとの 人間国宝

木を削り彼岸花を作る名人
佐々木喜秋さん(西二ツ屋)

佐々木喜秋さんは、造花の彼岸花作りの名人です。カギ状のナイフを使い、鮮やかな手さばきで花びらを削っていきます。

仕上がりはまるで本物。つげの木に花を差し込んで接着し、奥さんがとってきたネコヤナギを添えてラッピングし、見た目も花束のようです。

以前は店に出すほど作っていたとのこと。今は趣味として近所の人達に配っています。

作り始めたきっかけは、仙台で花屋をやっていた義兄に教わり、ものづくりが大好きな性分から今に続いているそうです。

材料の木はコシアブラで、自分で植え育てるほどの気入れよう。「まだまだ作るよ」と笑顔で答えて頂きました。



まるで本物の彼岸花のよう

秋山源兵衛の功績を讃える石碑は、豊里町蕪木地内にある通称「沼崎山」にひっそりと建っています。



沼崎山にひっそり建つ秋山源兵衛顕彰石碑

秋山源兵衛は、江戸時代初期の登米伊達家の家臣で、領内の野谷地開発に伴い、領主の命を受け、郡代としてその最大を占める赤生津大谷地の開墾を指揮しました。

とよさとの 世界遺産

赤生津村の基礎を築く 秋山源兵衛碑

開墾にあたり、測定の起点に「ほて」を竿上高く測定の目印(保手の由来)にし、一番江から九番江まで掘り排水を整え、ついに田450町歩、畑50町歩を切り開いたのです。

その功績により赤生津に宅地を賜り移住。のちにこの新田に作られた町が上町、中町(現仲町)、下町で、赤生津村(現登米市豊里町)の基礎を確立しました。

4月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
4月12日(日)	囲碁・将棋サークル	公民館和室

編集後記

新年度のスタートです。今年度から伊藤新館長に

バトンタッチします。長年のご協力感謝申し上げます。実りある事業に引き続きご協力願います。(佐々木)